

製品名 : 感光体(ドラムカートリッジに使用)

発行日 : 2001.06.01

1. 化学物質等及び会社情報:

製品名 : 感光体(ドラムカートリッジに使用)
使用機器 : V - 7 6 0 商品コード : D R 1 8 0
会社名 : 村田機械株式会社
住所 : 〒612-6868 京都市伏見区竹田向代町 1 3 6
担当部門 : 情報機器事業部 C S センター
電話番号 : 075-662-7719 F A X 番号 : 075-662-7790

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 本製品は成型品である。
含有成分 : 有機感光材料

3. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 特になし。
有害性 : 特になし。
環境影響 : 特になし。

4. 応急措置

吸入した場合 : 該当せず。
皮膚に付着した場合 : 石けんを使って水でよく洗い流す。
眼に入った場合 : 該当せず。
飲み込んだ場合 : 該当せず。

5. 火災時の措置

消火方法 : 供給源を遮断し、消火剤を使用して消化する。
消火剤 : 噴霧水、泡、粉末状消化剤
ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

製品名 : 感光体 (ドラムカートリッジに使用)

発行日 : 2001.06.01

6. 漏出時の措置

当社指定機器で通常取り扱う場合は特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 感光体が高温条件にさらされることを避ける。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
- 保管 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。
子供の手の届くところに保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会(1999年度版) : 設定されていない。
ACGIH(1999年度版) : 設定されていない。
- 設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は特になし。
- 保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は特になし。

9. 物理的及び化学的性質

- | | | | | | |
|------|----------|-----|----------|------|----------|
| 外観 | : 青緑色固体 | 臭い | : 無臭 | | |
| 沸点 | : 測定対象外。 | 蒸気圧 | : 測定対象外。 | 揮発性 | : 測定対象外。 |
| 軟化温度 | : データなし。 | 比重 | : データなし。 | 初留点 | : 測定対象外。 |
| 引火点 | : 引火性なし。 | 発火点 | : 発火性なし。 | 爆発限界 | : 測定対象外。 |
| 水溶解度 | : 溶けない。 | その他 | : 特になし。 | | |

10. 安定性及び反応性

- | | | | |
|-------------------|-------|-----|---------|
| 粉塵爆発性 | : なし。 | | |
| 安定性・反応性 | : 安定。 | 可燃性 | : 不燃性。 |
| 発火性(自然発火性、水との反応性) | : なし。 | 酸化性 | : なし。 |
| 自己反応性・爆発性 | : なし。 | その他 | : 特になし。 |

11. 有害性情報

- | | | | | |
|------|---------------|--------------|-------------|----------|
| 刺激性 | 皮膚 | : データなし。 | 眼球 | : データなし。 |
| 感作性 | 皮膚 | : データなし。 | | |
| 急性毒性 | 経口LD50 (ラット) | : > 2.0 g/kg | (実質上無毒である。) | |
| | 経皮LD50 (ラビット) | : データなし。 | | |
| | 吸入LC50 (ラット) | : データなし。 | | |

製品名 : 感光体(ドラムカートリッジに使用)

発行日 : 2001.06.01

1 1 . 有害性情報 のつづき)

慢性毒性 : データなし。

がん原性 : 発がん物質^{文献1}を含有せず。

変異原性(微生物、染色体異常) : Ames試験 陰性

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : 特になし。

1 2 . 環境影響情報データなし。

1 3 . 廃棄上の注意国の法律または都道府県、市町村の条例に従って、産業廃棄物として廃棄して下さい。

1 4 . 輸送上の注意国連分類 : 該当せず。 国連番号 : 該当せず。

1 5 . 適用法令適用法令無し。

1 6 . その他の情報

本化学物質安全性データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改訂・使用され、何らかの事故が発生した場合には、当社はその責任を負いかねますのでご了承下さい。

引用文献

文献1 : IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans(IARC:国際がん研究機関)

: 日本産業衛生学会誌(日本産業衛生学会)